

産婦人科の雑誌

小川 晴幾

I. はじめに

インターネットをはじめとして情報網の発達した現在、知りたい情報はほとんど瞬時に手にすることが可能になった。それに伴って雑誌の利用法も変化してきている。最近では、多方面で文献の検索に Medline などを利用するようになってきている。この連載を担当されてきた他の著者も異口同音にこの点に触れている。

雑誌の利用法としては、①ある症例に対してどのように対処するか類似症例の論文を探す、②疾患に対する基礎的な研究成果を調べる、③医学常識や学会の流れなどトレンドを掴む、④新しい診断法や治療法などの知識を得る等があると思われるが、①、②については決められたテーマについての文献検索、③、④については特にテーマを決めずに雑誌に目を通すことになる。

産婦人科は妊娠、分娩を扱う産科と女性生殖器の疾患や内分泌異常などを扱う婦人科より成る。胎児期（あるいはそれ以前）より死亡に至るまでの一生を通して女性を診ることになるため、他科との境界領域も多く含まれてくる。

産科では妊娠から出産に至るまでに発生するすべての異常に対して診ていく必要があり、特に合併症を持つ妊婦は妊娠という特殊な状態が原疾患に対して影響し、また原疾患が妊娠に影響を与えることに留意しなければならない。したがって他科との連携が必要になってくるが、病院の事情によっては他科に共観を依頼できないこともあり、このような場合には他科の雑誌

を調べなければならないこともある。他科との連携という意味では特に周産期に関しては小児科との連携は必須であり、当院では産科と小児科が毎週カンファランスを行って、患者（妊婦、胎児）や疾患についての知識の共有を心がけている。以前の掲載で周産期医療について述べられている（病院図書室、1993；13（3）：104-111）ので、あらためて再読をお勧めする。

婦人科では主に女性性器に関する奇形、感染症、腫瘍などの異常や内分泌疾患、代謝疾患も扱っている。骨粗鬆症のような、以前では整形外科で主に扱われてきた疾患も、女性ホルモン補充療法の関係から婦人科で扱われることも増えてきた。また近年における生殖医学の進歩は単に不妊症の治療にとどまらず、法律の範疇に無い親子関係の出現など社会的な問題を作り出した。これに伴い生殖医療を行う婦人科医は単に医学知識にとどまらず、法律や社会的知識も必要とされる。癌治療にしても化学療法の進歩に伴って治療法の選択の幅が広がっており、他科との協力のもとに手術療法や放射線療法等が飛躍的に進歩している。このことは他科における診断技術や治療の進歩についても認識していかなければならないことを意味する。

最近の論文の特徴として特に診断を行う上で分子生物学的手法が不可欠となっている。今まではこの手法は基礎医学で主に使われてきた。すなわち基礎研究と臨床研究の垣根がなくなってきた。この傾向は産婦人科のみでは無いが、このことは臨床医と基礎研究者の読む雑誌に重なりができてきたことを意味する。

このように産婦人科といっても大変多岐にわ

たっており、そのすべてについて詳述することは困難である。また読者一人一人雑誌の読み方は異なるであろうし、勤務する病院の所在地や図書室の設備にも制限されると思われるため、結局自分にあった利用法を考えなければならない。

II. 国内雑誌

1. 学会誌

ここで産婦人科関係の学会を網羅することはできないが、臨床の指針を得る為にはやはり学会の動向を見据えることがとりあえず必要である。産婦人科全般としては全国誌として「日本産科婦人科学会雑誌」があり、全国の産婦人科医にとって臨床及び研究指針の礎となってい

る。また筆者の所属地方会誌は近畿産科婦人科学会の発行する「産婦人科の進歩」であり、地域医療の中での協調を図る上で重要な雑誌となっている。

「日母医報」は日本母性保護産婦人科医会が発行している。この医会は1948年に制定された優生保護法に対して、1949年に優生保護法指定医師の団体として創立されたが、1965年には会員資格をすべての産婦人科医師に広げた。「日本産科婦人科学会雑誌」が臨床及び基礎的研究に関する論文を主に取り上げているのに対して、「日母医報」はいわゆる雑誌ではなく、産婦人科診療上の諸問題、医療行政、医業経営、医事紛争、医療保険など多種多様な医療情報があふれる中から産婦人科臨床医にとって必要な

表1 産婦人科関連学会・研究会

エンドメトリオーシス研究会	日本性科学会
骨盤機能温存研究会	日本性感染症学会
産婦人科マイクロサージャリー学会	日本生殖内分泌学会
産婦人科臨床懇話会	日本生殖免疫学会
女性排尿障害研究会	日本先天異常学会
腎と妊娠研究会	日本ソフロロジー法研究会
糖尿病と妊娠に関する研究会	日本胎盤研究会
日本癌学会	日本超音波医学会
日本癌治療学会	日本内分泌学会
日本外科系連合学会	日本乳癌学会
日本更年期医学会	日本妊娠中毒症学会
日本サイトメトリー学会	日本婦人科悪性腫瘍化学療法学会
日本産婦人科栄養・代謝研究会	日本婦人科がん検診学会
日本産婦人科ME学会	日本婦人科腫瘍学会
日本産科婦人科内視鏡学会	日本不妊学会
日本婦人科感染症研究会	日本分娩管理研究会
日本産婦人科手術学会	日本分娩体位懇話会
日本産婦人科腫瘍マーカー・遺伝子診断学会	日本平滑筋学会
日本産婦人科・新生児血液学会	日本母性衛生学会
日本産婦人科テロメラーゼ研究会	日本哺乳動物卵子学会
日本思春期学会	日本臨床遺伝学会
日本周産期学会	日本臨床細胞学会
日本絨毛性疾患研究会	日本臨床電子顕微鏡学会
日本受精着床学会	病態と治療におけるプロテアーゼとインヒビター研究会
日本女性心身医学会	分娩と麻酔研究会
日本新生児学会	

情報を提供する広報であり、産婦人科臨床医としては目を通しておかなければならない。

- ① 日本産科婦人科学会雑誌
- ② 産婦人科の進歩
- ③ 日母医報

専門分野別では関連学会及び研究会発行の雑誌ということになる(表1は「日本産科婦人科学会雑誌」52巻1号に掲載されている産婦人科関連学会及び研究会である)。

たとえば腫瘍について見てみると、癌学会のように基礎医学的研究を主体とした学会や癌治療学会のように臨床研究を主体とした学会という住み分けがみられる。また臨床研究においても、診断学的立場からだけでも病理学会や細胞診学会、腫瘍マーカー・遺伝子診断学会、婦人科癌検診学会など数多くの学会があり、治療についても数々の手術関連、放射線治療関連、化学療法関連の治療学会や研究会がある。がん転移研究会のように、基礎医学研究者、臨床医、臨床研究者、それに企業が参加して癌の浸潤、転移という現象に絞って検討する研究会も作られており、このような学会では種々の科も含まれることによって婦人科とは異なった視点から婦人科腫瘍を見つめなおすことができる。ただあまりに学会の数が多く、これらの学会誌すべてに目を通すことは困難である。

前述したように関連学会は時代とともに増えてきており、疾患によっては他科の雑誌が参考になる場合もある。

2. 商業雑誌

以下に主な商業雑誌を示すが、基本的には趣旨やテーマの取り上げ方はよく似ている。その構成は、1. 特集、2. 診療(手術手技、薬物療法、放射線療法など)、3. 症例、4. 研究等からなり、学会誌では基礎医学的研究論文が多い傾向があるのに対して、臨床に直接関わった内容が多い。学会誌への投稿と違って著者が肩を張らずに教育的視点を持って論じている場合も多く、産婦

人科入門的あるいは啓蒙的な色彩が強い。また発刊以来歴史の長い雑誌もあり、多くの産婦人科医が目を通していているため、学会誌にもよく引用されている。特集の組み方も今日的な話題が多く、解説的であることから教科書代わりの使い方をされることもある。どの雑誌も優劣つけがたく、一通りタイトルだけでも目を通したくなる。筆者も診療方針が決めにくい時、とりあえずこれらの雑誌から類似、関連症例を調べている。

- ① 産婦人科治療(永井書店)
- ② 産婦人科の実際(金原出版)
- ③ 産科と婦人科(診断と治療社)
- ④ 産婦人科の世界(医学の世界社)
- ⑤ 臨床婦人科産科(医学書院)
- ⑥ 周産期医学(東京医学社)

Ⅲ. 外国雑誌

筆者自身、大学に在籍していた時と現在とは読む雑誌がかなり異なる。大学在職中は腫瘍について研究していたので、「Nature」「Science」「Cell」「Proc Natl Acad Sci USA」「Cancer Res」「J Natl Cancer Inst」等かなり専門に偏りがあった。現在は、「Lancet」「N Engl J Med」「JAMA」等臨床系の雑誌が主となっている。これらの雑誌は恐らくほとんど全ての科の先生方が目を通しておられる信頼性の高い雑誌であり、常に産婦人科関係の論文が載っているわけではないが、忙しくて読めないときもタイトルだけでも気にかけておきたいと思っている。

- ① Nature
- ② Science
- ③ Cell
- ④ Proceedings of the National Academy of Science of the United States of America
- ⑤ Cancer Research
- ⑥ Journal of the National Cancer Institute
- ⑦ Lancet
- ⑧ New England Journal of Medicine

⑨ JAMA

このシリーズでいつも取り上げられているSCI (Science Citation Institute) の Impact Factor を、産婦人科関係について表2に示した。大きく分けて、産科学、婦人科腫瘍関係、生殖医療関係の雑誌で占められる。特に最近の生殖医療の進歩は遺伝子工学の進歩や体外受精の発展に伴って急速であり、「Fertil Steril」をはじめとして生殖医療に関与する雑誌は不妊症や更年期障害などを専門としていなくても目を通すことが多くなっている。「Am J Obstet Gynecol」や「Obstet Gynecol」や、「Br J Obstet Gynaecol」はどこの図書室でもよく見かける雑誌であり、多くの産婦人科医が目を通していると思われる。産婦人科全般について動向を掴むには適当な雑誌と思われる。

Impact Factor 上位にある雑誌はやはり学会誌の論文中によく引用されているが、これらの論文が臨床に直結するとは限らない。また前述したように、最近の論文の特徴として、今までは基礎医学で主に使われてきた分子生物学的手法等が不可欠となっているため、ある程度の研究経験がないと論文内容の理解が困難な場合もある。しかし、このような手法は最近では臨床検査をはじめとして日常臨床に多用されるようになっており、臨床医としても基礎医学で利用

されている手法を理解していなければならない。

- ① Fertility and Sterility
- ② Human Reproduction
- ③ American Journal of Obstetrics and Gynecology
- ④ Obstetrics and Gynecology
- ⑤ British Journal of Obstetrics and Gynaecology

IV. おわりに

このシリーズで今までに掲載された他科の紹介雑誌には、筆者自身も目にする雑誌がかなりあった。それらの雑誌が多く診療科で読まれているのは、掲載論文の信頼性やオリジナリティが世界的にも高く評価されていることもあるが、各科の特殊性とともに医学としての共通性があるからであろう。かつて基礎医学の成果が臨床に反映するにはかなりの時間が必要であったが、現在では基礎医学の成果は場合によっては臨床に直結する。また、ある診療科での研究の成果が、別の科の診療に影響を与えることが以前にもまして考えられるようになった。しかし、基礎医学から始めて他科の雑誌にまで目を通すとなると現実的ではなくなる。限られた時間の中でどの雑誌をどのように読むか大変難しい選択となっている。

表 2

Journal Citation Reports (JCR) on CD-ROM ----1998 Science Edition
Journal Rankings Sorted by Impacy Factor
(Filtered by OBSTETRICS & GYNECOLOGY)

Lank	Journal Abbreviation	ISSN	1998 Total Cites	Impact Factor	Immed. Index	1998 Articles	Cited Half-Life
1	ACTA OBSTET GYN SCAN	0001-8349	2782	0.974	0.124	225	7.9
2	ADV CONTRACEPT	0267-4874	180	0.241	0	15	6
3	AM J OBSTET GYNECOL	0002-9378	25934	2.834	0.27	508	8.5
4	AM J PERINAT	0735-1831	876	0.725	0.091	110	5.8
5	ANN CHIR GYNAECOL FE	0355-9521	481	0.355	0.014	73	7.8
6	ARCH GYNECOL OBSTET	0932-0067	489	0.182	0.083	36	8.9
7	AUST NZ J OBSTET GYN	0004-8666	816	0.494	0.132	121	6.4
8	BAILLIERE CLIN OB GY	0950-3552	410	0.591	0.028	36	5.8
9	BIRTH-ISS PERINAT C	0730-7659	404	1.164	0.103	29	6.4
10	BREAST	0980-9776	278	0.736	0.147	75	3.4
11	BRIT J OBSTET GYNAEC	0306-5456	7188	2.299	0.562	217	7.1
12	CLIN OBSTET GYNECOL	0009-9201	1224	0.799	0.1	90	8.1
13	CLIN PERINATOL	0095-5108	999	1.468	0.121	58	6.3
14	CONTRACEPT FERTIL S	1157-8181	226	0.256	0.023	128	4.8
15	CONTRACEPTION	0010-7824	1766	1.615	0.432	111	6.6
16	CURR OPIN OBSTET GYN	1040-872X	397	0.556	0.102	59	4.2
17	EARLY HUM DEV	0378-3782	1374	0.705	0.096	94	8.2
18	EUR J OBSTET GYN R B	0301-2115	1804	0.745	0.073	248	5.7
19	FERTIL STERIL	0015-0282	15216	3.344	0.433	390	6.6
20	FETAL DIAGN THER	1015-3837	447	0.707	0	65	4.4
21	GEBURTSH FRAUENHEILK	0016-5751	783	0.33	0.024	164	6.9
22	GENITOURIN MED	0266-4348	1250	1.741		0	4.7
23	GYNAKOL GEBURT RUND S	1018-8843	32	0.103	0	31	
24	GYNAKOLOGE	0017-5994	167	0.262	0.119	135	4.2
25	GYNECOL ENDOCRINOL	0951-3590	382	1.061	0.235	51	3.9
26	GYNECOL OBSTET INVES	0378-7346	935	0.431	0.052	134	6.9
27	GYNECOL ONCOL	0090-8258	5496	1.636	0.142	260	6
28	HUM REPROD	0268-1161	12644	3.65	0.395	727	3.6
29	HUM REPROD UPDATE	1355-4766	519	3.651	0.197	71	2.7
30	HYPERTENS PREGNANCY	1084-1955	199	0.963	0.3	30	4.1
31	INT J FERTIL MENOP S	1069-3130	598	1.345		0	8.5
32	INT J FERTIL WOMEN M	1069-3130	10	0.204	0	35	
33	INT J GYNECOL CANCER	1048-891X	288	0.375	0	83	4.5
34	INT J GYNECOL OBSTET	0020-7292	1271	0.376	0.018	217	6.5
35	INT J GYNECOL PATHOL	0277-1891	1003	1.509	0.311	61	6.4
36	J AM ASSOC GYN LAP	1074-3804	293	1.16	0.094	53	3
37	J ASSIST REPROD GEN	1058-0466	927	1.576	0.49	102	3.3
38	J GYNECOL SURG	1042-4067	154	0.303	0.083	36	5.9
39	J MATERN-FETAL INVES	0939-6322	97	0.266	0.025	40	
40	J PERINAT MED	0300-5577	633	0.648	0.033	61	7.3
41	J PSYCHOSOM OBST GYN	0167-482X	321	0.606	0.13	23	7.7
42	J REPROD MED	0024-7758	2512	0.783	0.101	179	7.8
43	J SOC GYNECOL INVEST	1071-5576	332	2	0.434	53	2.6
44	MATURITAS	0378-5122	1360	1.489	0.112	89	6.2
45	MENOPAUSE	1072-3714	226	1.387	0.235	34	3.3
46	OBSTET GYN CLIN N AM	0889-8545	403	0.978	0	55	5.5
47	OBSTET GYNECOL	0029-7844	15970	2.252	0.263	452	7.9
48	PAEDIATR PERINAT EP	0269-5022	452	0.815	0.065	46	5.6
49	PLACENTA	0143-4004	1583	2.458	0.271	85	4.9
50	PRENATAL DIAG	0197-3851	2664	1.906	0.161	193	4.5
51	SEMIN PERINATOL	0146-0005	754	1.046	0	50	7.3
52	ULTRASOUND OBST GYN	0960-7692	1636	2.182	0.392	153	3.3
53	Z GEBURTSH NEONATOL	0948-2393	64	0.362	0	54	